

第9回 黒埼町健康まつり 10月1日・2日

海賊鍋や講演会などの催しに650人参加

十月一日(土)、二日(日)、農村環境改善センターで第九回黒埼町健康まつりが行われました。



ケーキづくり教室

一日の前後は午後4時より始まり、昨年同様肝だましの陣(えび、かに、鮮魚を入れた海賊鍋)でスタート。参加者は、おいしそうに舌づつみを打っていました。(この鍋は三日も実施しました。)五時三十分からは保健衛生課職員出演による健康劇を上演。桃太郎さんが鬼ならぬ悪い病気を退治に出かける内容で、なかなか好評でした。そのあと健康優良家庭の表彰が行われ、由美かおるさんの「心とからだの健康」と題した講演会が開かれました。三日も様々な行事が催され

ました。ケーキづくり教室には多くの親子づれが参加し、講師の指導を受けながら、おいしいケーキをつくりました。また、会場には健康に関するパネル展示や健康相談コーナー、歯科医師による歯の相談コーナー、骨髄バンクコーナーなどが設けられていました。また、健康づくりに関与した料理展示コーナーでは町保健委員の考えたカルシウムたっぷりのごませんべい、サバのトマト煮などが展示され、試食も行われて好評でした。

午後からは、普段体を動かす機会が少ない主婦などに運動を生活の中に取り入れてもらうため、縄などを使った3人体操の紹介などが行われました。今年の健康まつりは二日間で約六百五十人が集まり、好評でした。

保健委員による料理展示コーナー



スポレクフェア'94

10月9日(日)総合体育館

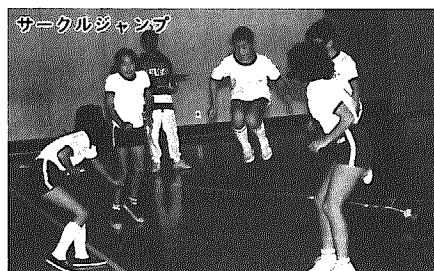
十月九日(日)、総合体育館では恒例となったスポーツレクリエーションフェアが開かれました。

この催物は、体育の日にちなんで健康増進と親睦をはかるために行われているもので、二十一チームが参加しました。「サークルジャンプ」(ひものついたボールを廻して何回飛べるか競う)、「有言実行ラリー」(ムカデ歩きで走路を一周し、申告した時間に近いと高得点)などの競技を参加チームは楽しみました。なお、競技の結果は以下のとおりです。

- ①あいうえお ②モンキー ③モンキーズ ④0123456789 ⑤ニュークイーンサンダーズ ⑥ジャンボフランクチーム



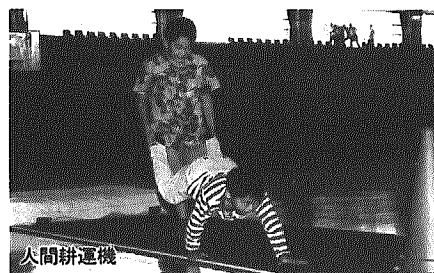
バット&ヨロフ



サークルジャンプ



有言実行ラリー



人間耕運機

黒埼町史のひろば

③

大正末〜昭和初期、黒埼名物といわれた

「政争」を現在の目で再評価してみよう...

大正末から昭和初期にかけて黒埼は「政争の村」として有名になりました。その後、一言尊徳の思想をとりどころとする報徳運動の導入などで、おさまつていきます。こうした動きを今日の目からはどのように評価できるでしょうか。『黒埼町史 資料編3近代』で、それらの資料を編まれた五百川清先生にお話をうかがいました。

大正の末から昭和初期にかけて、黒埼は政争の村として有名になります。その発端はどのようなことだったのでしょうか。戦前はどの町村も

重しがとれた格好になり、それまで潜在的にあった政友会と憲政会(民政党)との間の争いが表面化したのです。

『資料編3近代』に掲載されている「新潟新聞」の記事を見ると、なかなか大きな騒ぎだったようですが、

五百川 当時の新聞は、今と違って政党色がはっきりしていました。「新潟新聞」は民政党系の新



役場前にある報徳の教えを刻んだ石。碑文は「あらしのみちなき世はたかき人の徳も(昭和8年当時の日本報徳社副社長・佐々井信太郎作)『黒埼町史 資料編3近代』689ページ参照)

ともあり、これは行き過ぎとも思いますが、政争の村としてマイナスに評価するだけでなく、ある意味では、それだけ自由にものが言えた、「大正デモクラシー」が波及してきた、と評価することもできるのである。新聞記事といっしょに『資料編』に掲載した村議会の会議録を見ると、かなり違っています。

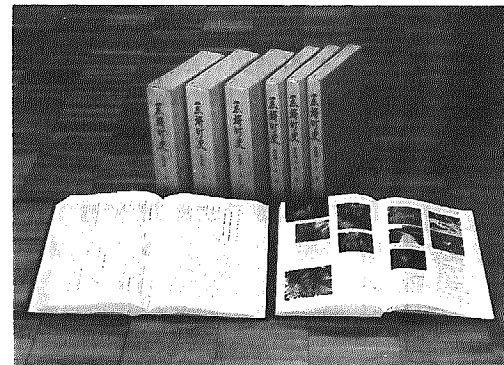
こうした動きに対して、現在、どんな評価ができるでしょうか。五百川 暴力沙汰があったこ

昭和に入ると、有力者だけでなく小作農民からも村議会議員が出ます。このことが、

議会の中での対立を刺激します。しかし、これもまた、一般住民の議会参加という意味で評価すべきでしょう。

こうした政争も、昭和に入ればはるかに収まっていってしまっている。

五百川 全国どこでもそうですが、戦時体制が青年団・婦人会などを通じて強化されていきます。(注・昭和六年に満州事変が勃発)黒埼の場合は、昭和八年に報徳の教えを取り入れ、自発的に経済更生運動に取り組んでいきます。外からの圧力だけでなく、自発的に行ったことが評価されます。報徳運動がなければ、黒埼では戦時体制の強化はほかの町村のようにスナリ行かなかったでしょうね。

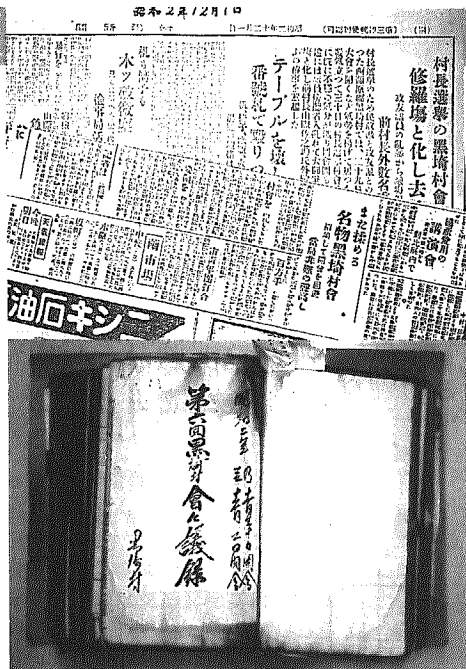


近代と自然の2巻が出ています

今回とりあげた黒埼の「政争」に関する資料は『黒埼町史 資料編3近代』に収録。ほかに明治維新から昭和20年までの黒埼の政治・経済などに関する資料も収録しています。B5判897ページで、頒布価格は1冊5千円(税込み)。

『黒埼町史 資料編5自然』も刊行されています。町内の動植物や気象・地質などの自然環境を、B5判オールカラー386ページにまとめました。頒布価格は1冊1万円(税込み)。

どちらも、役場2階の町史編さん室で取り扱っています。お問い合わせは、☎377-3101 内線232か233までどうぞ。



上/当時の混乱ぶりを伝える「新潟新聞」記事 下/大正末から昭和初期にかけての村議会会議録。昭和35年の役場火災に焼け残った数少ない文書である

